

令和7年3月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和7年3月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和7年3月27日（木） 13時30分～15時35分

川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

渡辺正範教育長、浅田公子委員、廣田公男委員、渡邊奈々子委員、川崎正男委員

3 説明のため出席した者

教育文化部長（滝沢直子）、教育文化部副参事（鈴木政広）、学校教育課長（藤田剛）、学校教育課指導管理主事（渡邊正文）、生涯学習課長（樋口具範）、スポーツ振興課長（数藤貴光）、文化財課長（菅沼亘）、森の学校キョロロ副館長（小海修）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：渡邊委員、川崎委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・4ページのサバイバルキャンプだが、一番下の備考欄を見ると、阿賀野市は共催の申請予定と書いてあるが、十日町市と津南町には共催の打診はなかったのか。

樋口生涯学習課長

- ・共催の打診はなく後援の打診だけだった。多分津南町も同じだと思う。

② 報告第1号 第4回学区再編協議を行うための研究会について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

鈴木教育文化部副参事

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・15ページの通学区のことだが、松之山小学校は市内全域から行けると私は認識していたが違うか。

藤田学校教育課長

- ・まつのやま学園の通学区域は、旧松之山町内の行政区が定められている。他の行政区の子どもがまつのやま学園に就学する場合は、全て学区外就学となり、要綱にある許可基準に沿って認定される。

廣田委員

- ・ちなみに、今何人ぐらい区域外から通っているか。

藤田学校教育課長

- ・正確な人数は分からない、結構な数いる。

川崎委員

- ・13ページに、特別な支援が必要な児童生徒の推移がある。今回、中学校の再編にあたり、特別支援の観点でも考えたことは大賛成である。現在、特別支援学級がある学校はほとんどであるが、そこにいる担当教員の中で、特別支援教育の免許を持っている人はごく僅かだと思う。学校数が少なくなれば、それだけ専門的な教育を受けることができるということにつながるので、この視点をこれからも大事にしていってほしい。

廣田委員

- ・前回の資料で、「小学校は地域と密着した活動を行うので、小学校と地域は連携していく」とあり、「中学校は子どもたちの成長に合わせてより広い視野で市全体に関わる視点を持つことが重要と考える」とある。要するに地域とあまり関係ないということが暗に言われている気がする。それは誤解だと思う。中学校になると、統合すれば統合するほど地域が広がり、そこに1校学校ができるという考え方だという説明を何でしなかったのか。地域の人々が誤解されたのではないかと思う。

鈴木教育文化部副参事

- ・委員がおっしゃるとおりの説明をしている。今後も、そのような説明をする。

(以上の質疑の後、了承した)

③ 報告第2号 十日町市公民館運営委員及び公民館分館運営委員の委嘱について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

川崎委員

- ・24ページ、下条公民館運営委員、阿部直樹さんは小学校長か。

樋口生涯学習課長

- ・校長先生である。これを作成したときは、まだ異動内示が発表されていなかった。次回の4月のときに、また変更のお願いをする。

渡邊委員

- ・運営委員の願いは誰がするのか。

樋口生涯学習課長

- ・基本的には、それぞれの地区運営委員の方と公民館長が相談して、後任、留任、新任等を決める。

渡邊委員

- ・なかなか代わり映えしない公民館もあった。公民館運営は、今、コミュニティセンター化する流れが来ているので、新しく変わっていくという印象がある。変わらない公民館は、少しでも新しい風を入れたらよいと思った。

樋口生涯学習課長

- ・今出た市民センター化に伴い、新たな考え方が起こる。水沢地区の市民センターの運営委員は、公民館運営委員から引き継いだ方は1人か2人で、残りは全部がらっと変わった。イメージを変えて行うようにしている。

(以上の質疑の後、了承した)

- ④ 報告第3号 十日町市地区公民館長の任命について
- ⑤ 報告第4号 十日町市公民館分館長の任命について
- ⑥ 報告第5号 十日町市公民館分館主事の任命について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく了承した)

- ⑦ 報告第6号 十日町市青少年育成委員の任用について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

川崎委員

- ・「青少年育成委員」と、「青少年育成市民会議」、それから、それぞれの地区に「青少年育成会」というのがある。青少年育成に関わるこれらの組織はどういう関係になっているのか。

樋口生涯学習課長

- ・いろいろな名前が混在している状態である。青少年育成市民会議が一番上の組織である。青少年育成委員は、行政の任命でやっている仕事になり、地区の育成会の中からメンバーを上げてもらっている。混在しているような感じになっているので、今、青少年育成市民会議と内容を精査して組織を整理する予定になっている。

廣田委員

- ・18年もしている方がいるが、何年になったら褒賞をするのか。

樋口生涯学習課長

- ・市の褒賞規程はある。まだ達していない。

渡辺教育長

- ・褒賞規程もいろいろある。それぞれの内容によって年数が区切りのよい5、10、15、20という年数になっている。まだ達していないということは、20年というのが一つの目安ということか。かなり厳格にやっている。現役中は表彰せず、退任のときに表彰するというものもある。

（以上の質疑の後、了承した）

⑧ 報告第7号 越後松之山「森の学校」キヨロ館長の任用について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

小海森の学校キヨロ副館長

- ・資料に基づき説明

（特に質疑なく了承した）

⑨ 報告第8号 十日町市文化財保護審議会委員の委嘱について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

菅沼文化財課長

- ・資料に基づき説明

渡辺教育長

- ・ごらんになっておわかりのとおり、10番の方が女性で、あとは全員男性という状況である。十日町市の審議会等の男女比率、4割を女性とする目標には程遠い状況である。適任の方が交代要員としてなかなか上がってこなかったということで、今こういう形になっているが、次回からはそれに近づくように願います。

（以上の質疑の後、了承した）

⑩ 報告第9号 十日町市博物館協議会委員の任命について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

菅沼文化財課長

- ・資料に基づき説明

渡邊委員

- ・公募というのは、どのような方法か。

菅沼文化財課長

- ・市報の2月号で募集をして、それに応募していただいた。

渡辺教育長

- ・今回は8分の5が女性であり、先ほどとは逆転現象になっている。

(以上の質疑の後、了承した)

⑪ 報告第10号 令和7年度十日町市博物館の休館日の変更について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

菅沼文化財課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく了承した)

⑫ 報告第11号 十日町市スポーツ推進委員の委嘱について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

数藤スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく了承した)

(3) 議決事項

①議案第1号 十日町市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則制定について

渡辺教育長

- ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

事務局

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく、全員挙手で決定した)

②議案第2号 令和7年度十日町市小中一貫教育実施計画の策定について

渡辺教育長

- ・議案第2号を上程し、事務局の説明を求めた。

藤田学校教育課長

- ・資料に基づき説明

川崎委員

・A3の資料、令和7年度の重点というのが真ん中にピンクの字で書いてあるが、見にくいので検討してほしい。その部分に探究学習の推進とあるが、私も個人的には探究学習は大好きであり、推し進めていってほしい。ただ、中学校はよいかもしれないが、小学校で探究を推し進めていくということについては慎重に検討したほうよいと思った。右側の児童生徒のつながりのところで、他校、異学年、異校種の子どもたちの絆づくりとある。学級の子どもたちのつながりが一番豊かな人間性や社会性を育成するための学校でのもとになってくると思うので、学級、もしくは学年という言葉を入れて、さらに異学年、それから他校、異校種と考えていったほうがよいと思った。それから、その下に、子どもたちが活躍し、認め合う機会を増やす居場所づくりとあるが、具体的にどういうことを示すのか、ちょっと分かりづらい。どのようなことをイメージしているのか。

藤田学校教育課長

・1点目の探究学習について、教科横断的に1人の担任がいろいろできるというのが小学校の特徴であり、今カリキュラムオーバーロードの状態非常に難しいが、総合の2時間と例えば教科の学習を組み合わせると探究的に学習を進めていくというようなことが可能だと思う。カリキュラムの中でそのようにやっていければよいと考える。2点目、私たちも当然意識としては居心地のよい学級づくりというのがベースにあり、その上でほかの学年、ほかの学校、ほかの中学校、小学校ということを考えている。学級をベースとしたというような文言を書き加えるよう検討する。3点目、活躍して認め合う機会を増やす居場所づくり、基本的には学級集団だと私は考える。日々の授業の中でそれぞれ出番があり、何でも言える、認め合える雰囲気がある居場所をつくっていく、そのベースはやはり最小の単位の学級だと思う。学級の中で様々なこと、学級づくりのスタンダードプランもそうだが、いろんなことをしていく中で子どもたちの人間関係をつくっていく、学級経営に目標を置いた表現だと私は考えている。

廣田委員

・重点のところでは家庭学習習慣づくりとあるが、この一番妨げになるのはテレビゲームとかスマホだと思う。スマホを持たせる持たせないなど、家庭同士の連携が必要だと思う。親同士で話し合う場面をつくるとか、PTA総会のときに講師を呼んで講演してもらおうとか、何か対応が必要だと思う。

藤田学校教育課長

・家庭学習の阻害理由として、今一番悪者にされているのは多分スマホである。ちょっと前はテレビゲームだと思う。阻害理由は時代によって変わってきている。スマホを一律に禁止する、規制をするというよりは、適正な使用を含めて指導して共存を図っていくしかないとは私は思っている。うまく利用する方法を考えていくのがよいと感じる。家庭学習の習慣ということでは、阻害理由よりも子どもたちが家庭学習、例えば宿題、自主学習をなぜやるか、目的意識を明確にすることが重要である。子どものスイッチをどれだけ押せるかということに着目してほしい。

渡邊委員

・うちの子どもを見ていると、家庭学習時間が学年掛ける10分と決まっている。それが目的化している。先生は時間ではかることが多い。そういう手段が目的になってしまって、結果的に子どもたちの学習意欲の阻害になるのではないかと考えた。小中一貫教育実施計画の「方策1 教職員同士のつながり」だが、中学校の先生が小学校に来て、小学校の先生が中学校に行き授業をするというのは、先生同士のつながりというより、子どもにより効果が出ていると思った。児童生徒のつながりのところで、縦割り班というものをやっていると思うが、異学年との関わりの中で学校全体の雰囲気安心して過ごせる環境をつくっていると私は思っている。

藤田学校教育課長

・1点目、学年掛ける10とか、週何時間など、多くの中学校区で設定している。おっしゃるとおり、目的化してはいけなくて、手段だということを繰り返し働きかけているところである。2点目、教職員のつながりについては、同じ義務教育であるから、9年間見通そうということで始まった。その一端として相互交流のような形ですごくよい効果を教員も子どもたちも生み出していると感じている。3点目、縦割り班については、多くの小学校、中学校でやっているが、それが結局その学校の校風や伝統をつくる一つの方法になっていると考えている。だから、どんな規模であれ、どんな形であれ、縦割りの異学年交流というのはこれからも取り入れていかなくてはならないと考えている。

浅田委員

・学習時間について、宿題を出すに当たり何でこれをしなければいけないかという理由づけをちゃんと指導しているということだったが、子どもたちも自分でなぜ勉強しなければいけないか、宿題しなければいけないかということを考える時間が必要だと思った。

藤田学校教育課長

・おっしゃるとおり。校長の学校経営や学級経営の中で繰り返しその意味について言っていかなければならないと思っている。

(以上の質疑のあと、全員挙手で決定した)

③議案第3号 十日町市小学校下学年学習支援員設置要綱の制定について

渡辺教育長

- ・議案第3号を上程し、事務局の説明を求めた。

藤田学校教育課長

- ・資料に基づき説明

渡邊委員

- ・市内5校というのは、具体的に決まっているか。

藤田学校教育課長

・決まっている。現時点では、中条小学校、水沢小学校、西小学校、千手小学校、田沢小学校に配置予定である。配置理由は、小2、小3のNRTの学力検査の数値を見たとき、少し市内でも落ち込みが見られるところ、あるいは総合的に見てもちょっと落ち込みが見られるところということを考慮している。いわゆる教育支援、学習支援員ではなく教育支援員、特別支援の要望数が多い学校も、考慮に入れている。

渡辺教育長

- ・全校に配置できれば一番よいが、現実的になかなか難しいということで、5人からスタートをさせていただいた。

川崎委員

・低学年でなかなか手のかかる学級があるということが以前から言われてきているが、また最近そういう声が大きくなってきているような気がする。先ほど5校でやるということであったが、場合によっては来年度増やす方向でぜひ対応していただきたいと思った。

藤田学校教育課長

- ・現場と情報交換しながら検討していく。

(以上の質疑のあと、全員挙手で決定した)

④議案第4号 十日町市幼保小連携推進員設置要綱の制定について

渡辺教育長

- ・議案第4号を上程し、事務局の説明を求めた。

藤田学校教育課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

・幼稚園がこども園になったと理解していたが、要綱を市として、教育委員会として定めるときには、まだこども園の「こ」を使わないで「幼」と使ったほうがよいということなのか。

藤田学校教育課長

- ・幼稚園はまだある。

鈴木教育文化部副参事

- ・こども園も1号認定とか2号認定とか、機能の分けがある。幼稚園は、名称上まだ残っているところがある。

浅田委員

- ・52ページに勤務時間が書いてあるが、勤務日数が1週につき3日と指定されている。48ページ、前段の下学年支援員については勤務日数が指定されていないが、それはどうなのか。

藤田学校教育課長

- ・48ページ、支援員の場合は、勤務日及び勤務時間については別に任命権者が定める。基本的には、学習支援員は教育支援員と同じなので、毎日学校に行き、6時間の勤務となる。7時間で、1時間休憩という形になる。指導主事の先生に関しては週3回、20時間を超えない雇用になる。

渡邊委員

- ・3号、4号とも何名と決まっているが、確保できるのか。

藤田学校教育課長

- ・既に全員確保済み。

廣田委員

- ・51ページの2条の(4)だが、(5)みたいに幼保小という1つの文言で書くときには違和感はないが、(4)のようにばらばらに書くときは幼稚園も入れたほうがよいのではないか。

鈴木教育文化部副参事

- ・厳密には入れた方がよい。整理する。

川崎委員

- ・51ページ、第2条の(5)、架け橋期スタンダードプログラム等に記載されている事業とは具体的に何か。

藤田学校教育課長

- ・具体的な取組としては、幼保小の情報共有、幼保小の連携に関する研修会の実施、それから、WEBQUに基づく学級づくりに園を対象に情報提供を行う等が記載されている。

川崎委員

- ・幼稚園、こども園のほうから、小学校のほうへかけ橋的に考えた際にはこういうことを指導するというようなことが載っているのかと思ったが、違うのか。

藤田学校教育課長

- ・もちろん架け橋期スタンダードプログラムの狙いとして、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、小学校1年生が目指す学級づくりのイメージを共有するとか、就学前から小学生の発達、学びの見通しを持つとか、カリキュラムを関連づけるとか、学びを連続的に捉え、具体的な取組を見える化してPDCAサイクルを回す等は狙いとしてある。

渡辺教育長

- ・先ほどの下学年の支援員と同じように、この推進員については、まず学校に入ってきたら下学年中心にしっかり勉強の面倒を見るという体制をつくと同時に、学校に上がる前の幼稚園、保育園の皆様からもしっかりと小学校のほうを見ていただく、逆に小学校のほうも幼稚園、保育園、こども園のほうを理解した上で、それぞれの立場で協力し合いながら子どもたちを育ていく、この2つをセットとして来年度取り組みたいということである。どちらが欠けてもなかなかうまくいかないだろうと思っている。

(以上の質疑のあと、全員挙手で決定した)

⑤議案第5号 十日町市公民館条例施行規則の一部を改正する規則制定について

渡辺教育長

- ・議案第5号を上程し、事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・所管の公民館ごとに分館を整理した表であるから、中央公民館を一番上にしたほうがよい。

樋口生涯学習課長

- ・修正する。

(以上の質疑のあと、全員挙手で決定した)

⑥議案第6号 十日町情報館条例施行規則の一部を改正する規則制定について

渡辺教育長

- ・議案第6号を上程し、事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑なく、全員挙手で決定した)

5 その他

(1) 令和7年度市立学校児童生徒数について

藤田学校教育課長

- ・資料に基づき説明

(2) 十日町市総合戦略等推進会議の委員選出について

事務局

- ・資料に基づき説明。川崎委員を選出したい旨説明。

(異議なし)

(3) 4月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

(4) 次回以降の定例教育委員会の開催日時

- ・4月定例会 4月24日(木) 13時30分から開催することを確認した。
- ・5月定例会 5月28日(水) 13時30分から開催することを確認した。

以上で、15時35分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記